

誰にでも  
わかりやすい

# 多文化共生の超入門



糸島地域広域連携プロジェクト推進会議（糸島市・福岡県）

## もくじ

### 1 多文化共生のまちづくり

- (1) 多文化共生とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 糸島市に住む外国人の現状・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 外国人の困りごと（ケーススタディ）・・・・・・・・ 5
- (4) 糸島市が推進する多文化共生のまちづくり・・・・ 7

### 2 「やさしい日本語」の使い方

- (1) 「やさしい日本語」とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 「やさしい日本語」のポイント・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 「やさしい日本語」支援ツール、音声翻訳アプリ ・・・・ 12

### 3 市民、事業者のみなさまへ(お願い)・・・・・・・・ 13



# 1 多文化共生のまちづくり

## (1) 多文化共生とは

日本の在留外国人は、人数が増加しており、国籍や民族のちがいを越えた「多文化共生の地域づくり」が必要です。

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくこと」です。

多文化共生を推進していくためには、日本人市民と外国人市民は地域社会を支えるパートナーであるという認識をもつことが大切です。

## (2) 糸島市に住む外国人の現状

### ①外国人市民の増加

糸島市の総人口は、2020年12月末現在で102,523人となっており、このうち外国人は1,340人で全体の約1.3%を占めています。

九州大学の統合移転による留学生や教員の増加、改正出入国管理法の施行による企業の外国人労働者雇用の拡大などにより、今後も外国人市民の人口増加が予想されます。



「資料：糸島市住民基本台帳(各年12月末時点)」



「資料:糸島市住民基本台帳(各年12月末時点)」

## ②外国人市民の内訳

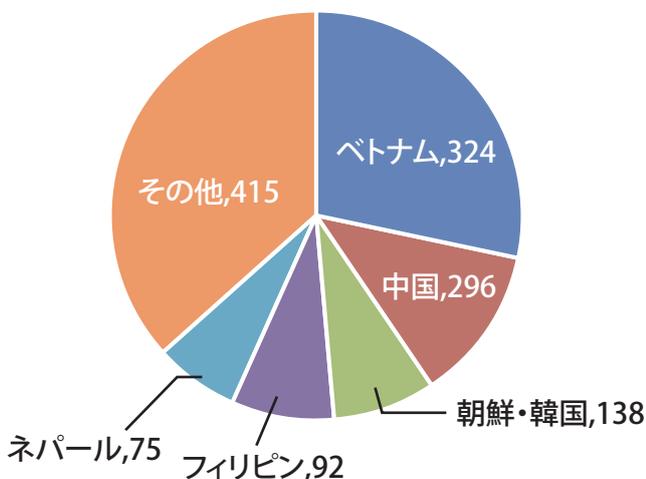
国籍別では、ベトナムが324人で最も多く、次いで中国が296人となっています。また、外国人が日本で生活するにあたっては、滞在理由にあわせて、在留資格を得る必要があります。

糸島市の外国人市民は、留学が最も多いですが、技能実習も近年急速に増えています。

※在留許可は、法務大臣(法務省出入国在留管理庁)が行います。

### 国籍別

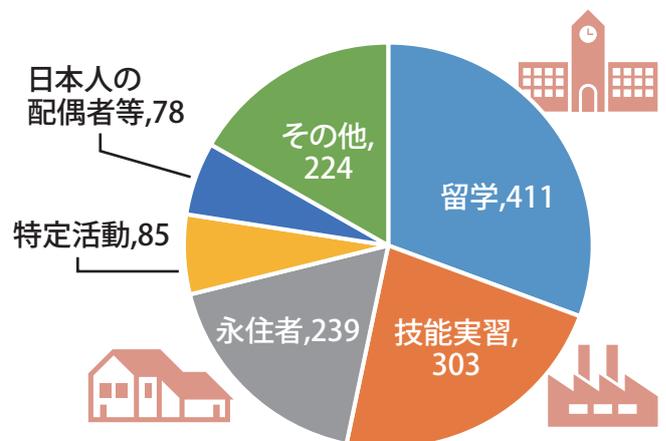
(単位:人)



「資料:糸島市住民基本台帳(2020年12月末現在)」

### 在留資格別

(単位:人)



「資料:糸島市住民基本台帳(2020年12月末現在)」

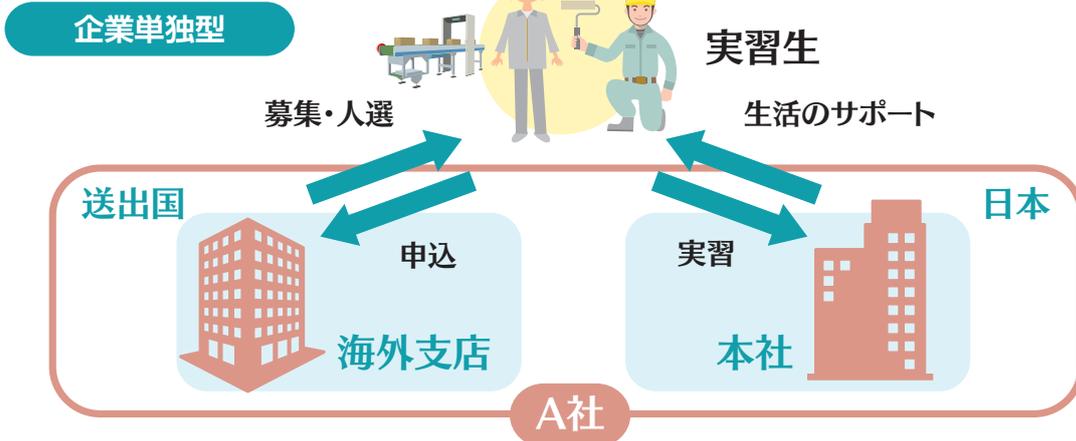
## 糸島市内で多い在留資格の例

### 留学 日本の学校で教育を受ける活動

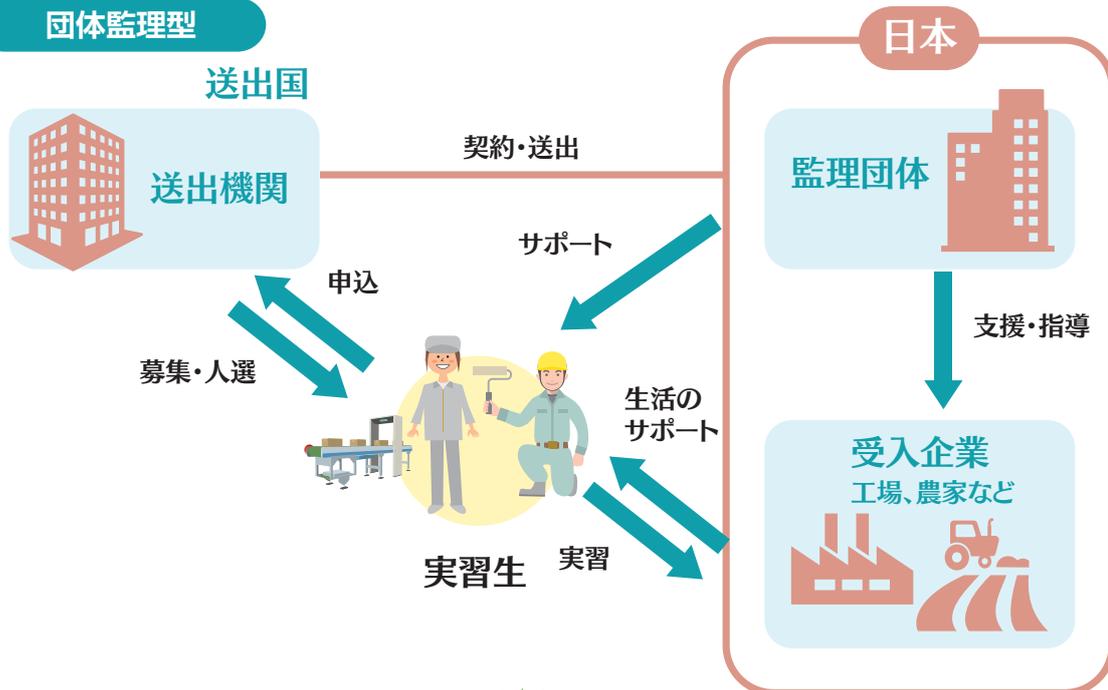


### 技能実習

母国の発展に活かすため、日本の企業などで働くことで技術や知識を習得する活動



### 団体監理型



## 永住者

日本に住み始めてから一定年数が経過し、素行が良好などの要件を満たして永住許可を得ている外国人

例)中国、フィリピン・韓国などが多い

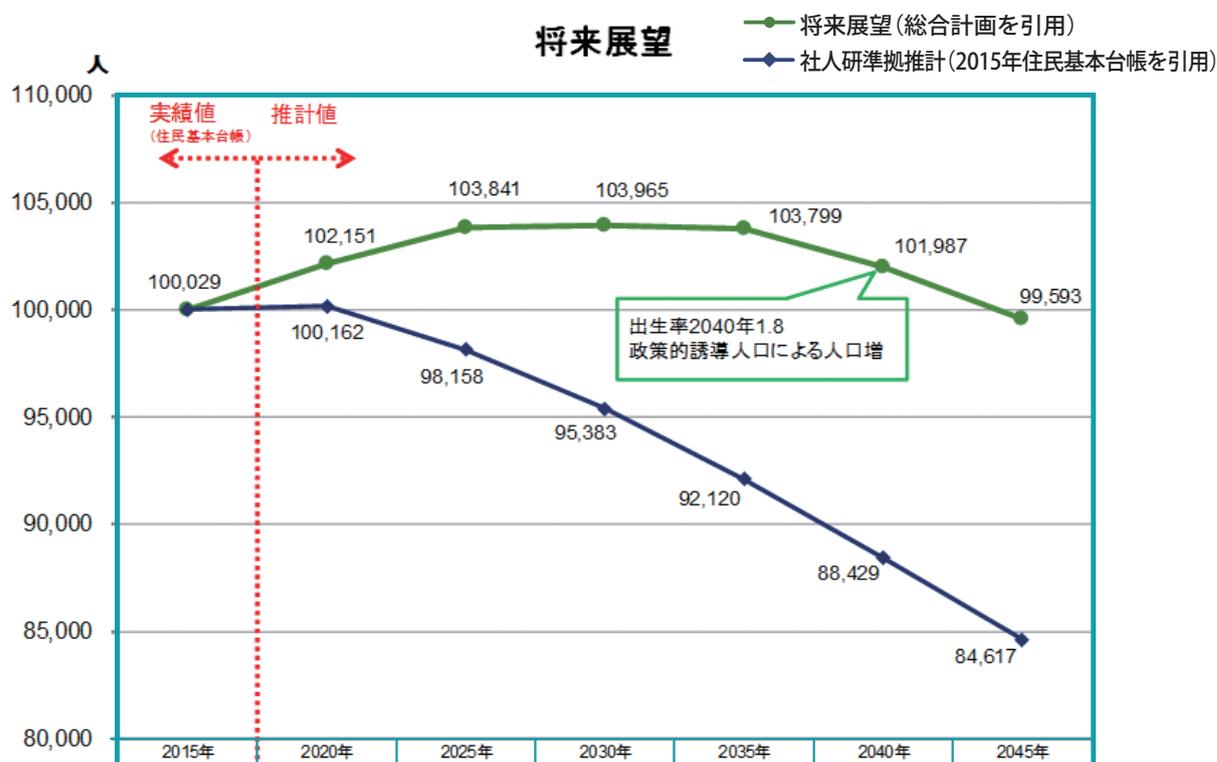


## 特定活動

ワーキング・ホリデーや元留学生の就職活動など、法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動

## 日本人の配偶者等

日本人の配偶者や子ども



「資料:まち・ひと・しごと創生糸島市人口ビジョン(令和2年3月改訂)」

外国人市民の増加に反して、日本の総人口の減少とともに、今は増加している糸島市の総人口も、今後は減少すると推計されています。

人口減少に伴い、担い手不足の仕事を外国人市民が担ってくれていること、日本人市民と同様に税を負担していることから、外国人市民も住みよい社会を形成する一員となっています。さらに双方の共生が進むと、外国人市民の地域活動への参画も期待できます。

### (3) 外国人の困りごと (ケーススタディ)

日本で生活する外国人市民が困っている事例を紹介します。事例をもとに、自分には何ができるか、どんな声かけや行動ができるかを考えてみてください。

#### ①中国出身・ズーハンちゃんの場合



お父さんの仕事の都合で1年前から日本で生活しているズーハンちゃん。最初は言葉の違いに戸惑ったけれど、クラスメイトはみんなとても親切で、すぐにたくさんの友だちができて、毎日学校が楽しみでしかたない様子でした。

そんなある日、クラスメイトの1人が言いました。「お母さんが、ズーハンちゃんとは遊んじゃダメって言うんだ」と。ズーハンちゃんは、ひどく傷つき、泣いています。

あなたがこの場面に遭遇したとき、どんな行動をとりますか？



#### ②ベトナム出身・グエンさんの場合

グエンさんは技能実習のため、日本に来て3か月が経ちました。

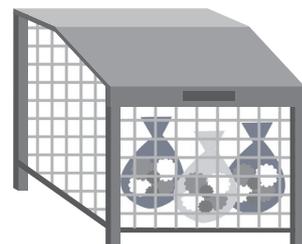
ベトナムではごみを分別する文化や公的な収集サービスがなく、ごみ出しのルールがまだよく分かっていません。

ある朝、グエンさんがごみ出しをしていると、同じアパートの住人が3人、ひそひそと何か話しています。

近くを通ると、「あの人、また燃えるごみにペットボトルや缶を入れて出しているわ」「ルールが守れないのかしら」という声が聞こえてきました。

グエンさんは何を言われているのかははっきりとは分かりませんが、なんとなく、自分の悪口を言われていることに気づき、悲しい気持ちでその場を去りました。

あなたがこの場面に遭遇したとき、どんな行動をとりますか？

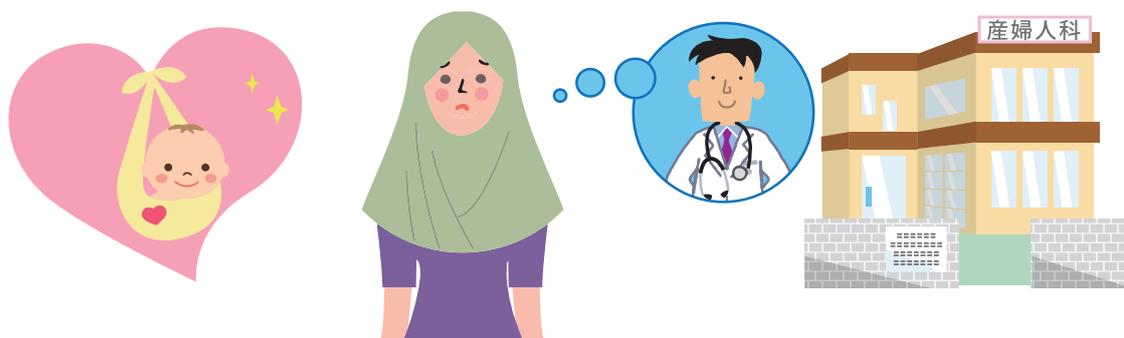


### ③インドネシア出身・アンさんの場合

日本人と結婚し、糸島市で生活することになったインドネシア出身のアンさん。イスラム教を信仰しており、夫以外の異性に肌を見せないう、普段からヒジャブというスカーフを巻いて生活しています。

ある日、アンさんが妊娠していることが分かりました。夫はとても嬉しそうだけど、アンさんはとても不安そう。

あなたは、アンさんにどんな言葉をかけますか？

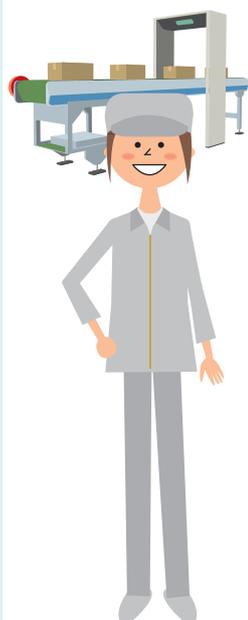


### ④フィリピン出身・ジョシュアさんの場合

来日して2か月のジョシュアさんは、日本の生活にも少しずつ慣れてきて、毎日充実した日々を送っています。

技能実習先への出勤途中、ジョシュアさんは急にお腹が痛くなり、道端にしゃがみ込んでしまいました。ジョシュアさんは携帯電話を持っておらず、知人に助けを求めることができません。多くの人が周りを行き交いますが、みんな見て見ぬふりをして通り過ぎてしまいます。

あなたがこの場面に遭遇したとき、どんな行動をとりますか？



※これらの事例はフィクションですが、実際に身近にある問題を取り上げています。

## (4) 糸島市が推進する多文化共生のまちづくり

糸島市では、「糸島市の国際化に関する市民意識調査」を実施し、日本人市民548人、外国人市民172人から回答をいただきました。

調査の中で、日本人市民からは、「地域の外国人とあいさつをしたい」「日常会話をしたい」「文化交流をしたい」などの声が多く聞かれました。外国人市民からも、「地域活動などに参加したいがどうすればいいかわからない」などの声が多く聞かれ、双方に交流を望んでいるができていない実態があることが分かりました。

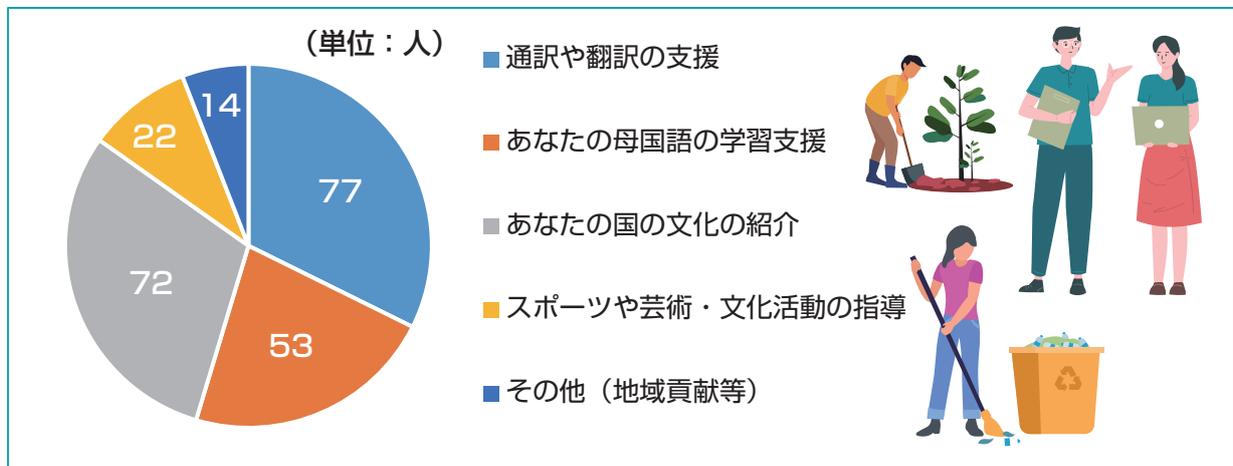
一方で、外国人市民は、自らの能力や語学力を活かし、通訳や翻訳の支援、スポーツや芸術・文化活動の指導、地域貢献等を行いたいという意欲があり、地域の新たな担い手としての活躍が期待できます。

また、生活習慣や文化の違いから、日本人市民と外国人市民の間にトラブルが生じている状況がありますが、交流を深める中で互いの生活習慣や文化を知り、尊重し合うことで、トラブルを未然に防ぎ、災害が発生したときなど、緊急時に助け合える関係もできます。

この調査結果などをもとに、「糸島市多文化共生推進計画（2020年3月）」、「糸島市多文化共生行動計画（2020年10月）」を策定し、「お互いを理解し、みんなで作る多文化共生のまち 糸島」を基本理念に掲げ、国籍や民族などの違いにかかわらず、多様な文化や習慣を持つ市民が、互いの人権や多様性を尊重し合い、地域社会に参画し、誰もが地域への愛着と夢を持って、共に安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを行うこととしました。

今後、この計画に沿って、多様な言語に対応した情報の提供や、国際感覚豊かな人材の育成などに取り組むこととしています。

今後、あなたの能力や語学力などを活かして、協力したい活動はありますか？（複数回答可）



「資料：糸島市の国際化に関する市民意識調査結果（外国籍市民）」

## 2 「やさしい日本語」の使い方

### (1) 「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは、私達が普段使っている日本語を、外国人にも分かりやすいように配慮した、簡単な日本語のことです。「やさしい」には、「優しい」と「易しい」の2つの意味が込められています。

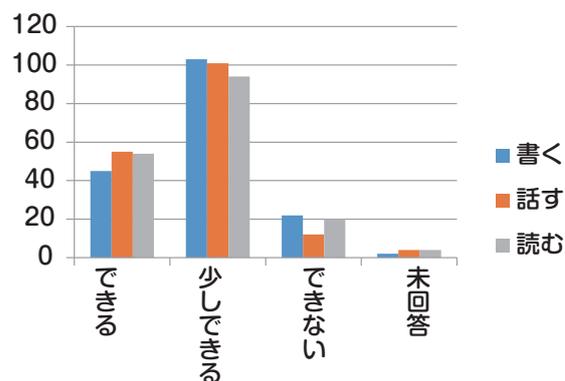
糸島市で行った調査では、英語で日常会話ができると答えた人数が89人なのに対し、日本語である程度会話できると答えた人数が156人となっています。このように外国人市民の85%以上が、簡単な日本語であれば理解できるという状況では、「やさしい日本語」は有効なコミュニケーション手段であると言えます。

また、「やさしい日本語」は外国人だけでなく、小さな子どもや高齢者、障がいのある人などに情報を伝える際にも役立ちます。

あなたの日本語力を教えてください。（単位：人）

	書く	話す	読む
できる	45	55	54
少しできる	103	101	94
できない	22	12	20
未回答	2	4	4
計	172	172	172

	漢字	ひらがな	カタカナ	読めない
読むことができる文字	90	140	125	9



「資料：糸島市の国際化に関する市民意識調査結果(外国籍市民)」



## (2) 「やさしい日本語」のポイント



### ●書くとき、話すとき

一文は短く、簡潔に！

#### ①必要な情報を整理する

余分な情報を省いたり、必要に応じて補足情報を加えたりしましょう。

例)ごみは、分別して指定のごみ袋で出してください。

正しく分別されていない場合、回収されないおそれがあります。

→ごみは燃えるごみと燃えないごみに分けてください。決まっているごみ袋に入れて出してください。



#### ②一文を短くし、できるだけ一文一情報にする

一文をできるだけ短くし、長い文章は分けましょう。

まわりくどい言い回しや二重否定は避けましょう。

例)この場所での喫煙や飲酒は条例によって禁止されていますので、ご遠慮ください。

→ここでは、たばこを吸ってはいけません。お酒も飲んではいけません。

回収できないこともないが、なるべくリサイクルに出すほうが好ましい。

→回収はできますが、リサイクルに出すほうがいいです。



#### ③簡単な言葉を使う

できるだけ小学校低学年の子どもでも理解できる言葉を心がけましょう。

例)購入する→買う

避難する→逃げる

分別回収です▼

ごみは分けてください



#### ④カタカナ語に注意する

カタカナ語の中には、日本で作られた言葉(和製英語)や、原語とは意味や発音が異なる言葉が多くありますので、使うときは注意しましょう。

例)和製英語:サラリーマン、ガソリンスタンド、ペットボトル、シャーペンなど。

意味が異なる言葉:ハンドル:英語では「扱う、取っ手」という意味

マンション:英語では「大邸宅」という意味

発音が異なる言葉:アルコール、ワクチン、アレルギーなど。



#### ⑤文末の表現を統一する

指示表現は「～してください」可能表現は「～することができる」という表現を使いましょう。

例)ごみを捨てましょう。→ごみを捨ててください。

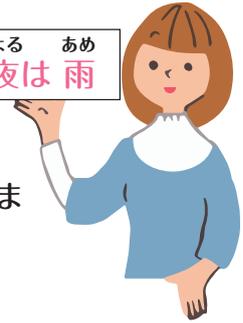
使えます。→使うことができます。





## ●書くとき

きょう よる あめ  
今日の夜は雨



### ①全ての漢字にふりがなをふる

漢字の使用量に気を付けるとともに、全ての漢字にふりがなをふりましょう。

### ②「分かち書き」にする

文節ごと(意味のまとまり)にスペースを入れて、読みやすくしましょう。

意味のまとまり→「ね」を入れて意味が通じるところ。

例)今年の夏まつりは中止します。→今年の(ね)夏まつりは(ね)中止します。

→今年の 夏まつりは 中止します。



### ③時間は12時間表記を原則とし、西暦を使う

例)16時半→午後4時30分

令和3年11月20日→2021年11月20日



### ④写真やイラストを活用する

必要に応じて写真やイラストを挿入すると、さらに分かりやすくなります。



## ●話すとき

### ①「はさみの法則」(東京外国語大学 荒川洋平教授提唱)を意識して話す

○はっきり…はっきり、ゆっくり話す。あいまいな言い方をせず、はい、いいえをはっきりさせる。

例)申し訳ないのですが、ここでの飲食はご遠慮願います。

→ここで食べないでください。

○さいごまで…語尾を濁さないで最後まで言い切る。

例)よく分からなかったんですが…

→分からなかったので、もう一度教えてください。

○みじかく…一つの文に一つの情報にする。短く切って話す。

例)郵便局はちょっと遠いんですが、あの信号まで行って左に曲がって、まっすぐ行ったところにありますよ。

→郵便局はすこし遠いです。あの信号まで行きます。左に曲がります。

まっすぐ行きます。郵便局があります。





## ②敬語は控えめにする

敬語はなるべく使わず「です」「ます」で話しましょう。

例)おかけになってお待ちください。→**座って、待っていてください。**

## ③相手が理解しているかを確認する

話の区切りで、相手が理解しているかどうか確認しましょう。ただし、「分かりましたか?」だけではなく、「はい」「いいえ」で終わらない質問を付け加えると良いでしょう。(ただし、詰問口調にならないよう注意しましょう。)

例)「だれがここに来ますか」「いつ来ますか」「何を持って行きますか」など。



## ④相手の話を理解したことを示す

多めに相槌をうつなど、相手の話を理解したことをはっきり示すようにすると、相手も安心できます。



## ⑤オノマトペ(擬音語や擬態語)を使わない

日本人はオノマトペで細かいニュアンスを伝えることが多いのですが、外国人には伝わりません。できるだけ状況を言葉で説明しましょう。

例)雨がザーザー降っている→**雨がたくさん降っている**

空き缶はぺちゃんこにつぶす→**空き缶はつぶして薄くする**



## ⑥方言を使わない

外国人が学ぶ日本語は、標準語です。そのため、方言では伝わりませんので注意しましょう。

例)今日は店が開いとうか分からんけん、電話して聞いたほうがよかよ。

→**今日は店が開いているか分かりません。電話して聞いたほうがいいです。**



## ⑦子どもに話すような態度や言葉遣いをしない

外国人でも、日本語能力はさまざまです。話し手は思いやりのつもりで簡単な表現をしても、受け手によっては、子ども扱いされているという印象を与えてしまう場合があります。

まずは相手の日本語能力がどの程度なのか、相手の反応を見ながら、会話を進めましょう。

例)ここに書いてね。そう、ここ。そうそう。上手、上手。

→**ここに書いてください。はい、ここです。それでいいです。**



### (3) 「やさしい日本語」支援ツール、音声翻訳アプリ

多言語通訳機(ポケットークなど)や音声翻訳アプリ(VoiceTraなど)で、日本語を外国人住民の母語に機械翻訳して会話する方法があります。

このとき、やさしい日本語を使って音声入力すると、正確な翻訳結果が出やすいと言われています。

#### ●「やさしい日本語」支援ツール

リーディング チュウ太	やさいち チェッカー	やんしす
		

#### ●音声翻訳アプリ



VoiceTra(ボイストラ)	
iOS版	Android版
	

iOS は、Apple Inc.の商標です。

Android は Google LLC の商標です。

### 3 市民、事業者のみなさまへ(お願い)

この糸島市に住んでいる人や仕事をしている人、また、学校で学んでいる人は、**国籍や文化、生活習慣の違いにかかわらず、みんな“市民”**です。

同じ市民であっても、外国人市民の多くは、日本で生活するうえでの困りごとを抱えています。特に、日本に来たばかりの人は、日本で生まれ育ち、日本の文化やルールが当たり前となっている日本人市民には計り知れない不安や戸惑いを感じていることでしょう。

日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らせる心豊かな地域社会の実現を目指すため、みなさんをお願いします。

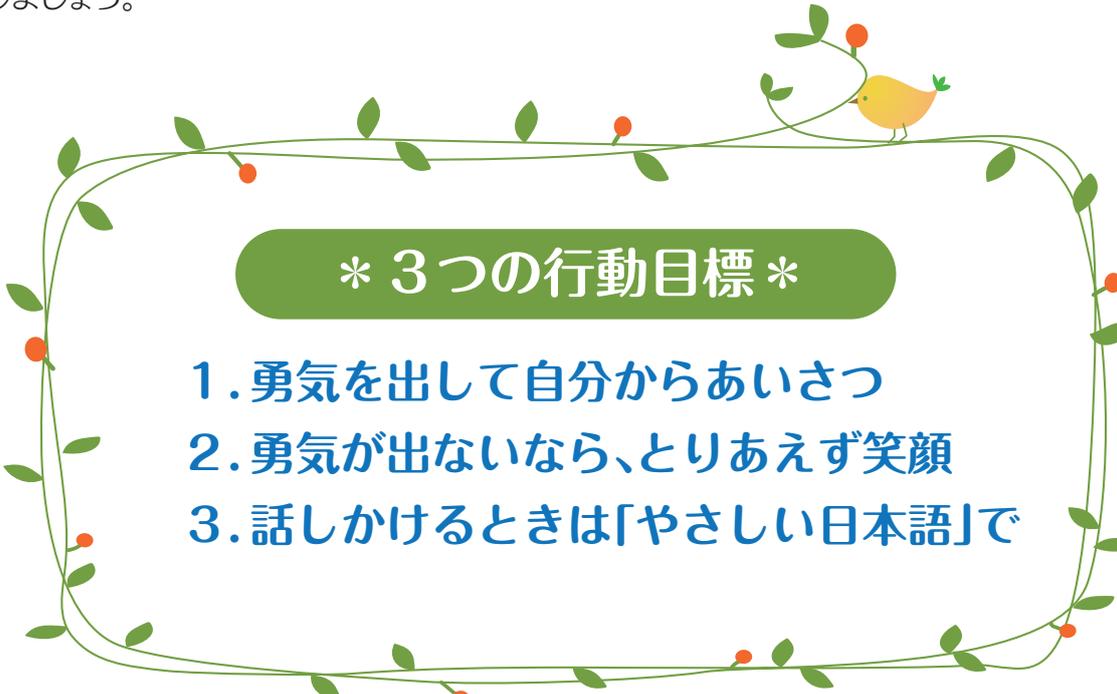
外国人市民と接する機会があれば、ぜひ積極的に**笑顔であいさつ**をしてください。また、困っているように見える場合は、「どうしましたか?」と、**やさしい日本語での声かけ**をお願いします。

言葉が通じるか分からない相手と接するのは、緊張し、身構えてしまいます。しかし、それを乗り越え、コミュニケーションをとり、相手を知ることは、日本人市民と外国人市民、双方の安心につながります。

外国人から見た、日本人の見た目や考え方、文化や習慣が異なるのと同様、日本人から見た外国人も違って当たり前です。だからといって、全てを許容する必要はありません。日本や地域で生活するうえで守らなければならないルールやマナーは、優しく教えてあげてください。

「自分たちと違うから排除する」ではなく、「自分たちではできない経験をさせてくれる」と捉えてみてください。きっと、みなさんの人生を豊かにしてくれるはずです。

全市民一丸となって、「お互いを理解し、みんなでつくる多文化共生のまち 糸島」を実現しましょう。



#### \* 3つの行動目標 \*

1. 勇気を出して自分からあいさつ
2. 勇気が出ないなら、とりあえず笑顔
3. 話しかけるときは「やさしい日本語」で

作成:糸島地域広域連携プロジェクト推進会議(糸島市・福岡県)  
なお、作成にあたっては ふくおか やさしい日本語でつなぐ会に監修・協力いただきました。

令和4年1月発行